



環境経営レポート 2018

opolic

大阪印刷インキ中部販売株式会社

■環境経営レポート 2018

目次

■ 環境方針	1
I 組織の概要 / 対象範囲	2
II 環境目標及び活動計画	3
III 計画の実施 / 実施体制	4
IV 環境活動計画の取組み結果と評価	5
V 環境への取組み	7
VI 環境関連法規遵守状況の確認、評価の結果、違反、訴訟等の有無	9
VII 代表者による全体評価と見直しの結果	9

大阪印刷インキ中部販売株式会社



発行日：2019年 10月30日

改訂日：2019年 11月12日

「共にさかえ、夢をかたちに」

■環境方針

●環境理念

大阪印刷インキ中部販売株式会社は、地球資源が無限ではないことを深く認識し、印刷材料・印刷機械の販売を通じ環境保全に配慮した販売活動を積極的に行っていくことを、企業活動の重要課題としてすすめていきます。

●環境方針

- ① 販売活動において、環境保全に配慮した製品を積極的にお客様へご提案するように努めます。
- ② 企業内部活動において、廃棄物の削減・省資源化・再利用・省電力化を推しすすめ環境保全に努めます。
- ③ 環境教育を徹底し、全社員の環境意識向上を図るとともに、環境方針を社外に公開します。
- ④ 環境関連法令、条例、業界の自主規制等を積極的に遵守することはもとより、社内の環境管理基準を定め、その継続管理に努めます。

●環境保全への行動指針

- ① 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- ② 具体的な環境目標を定め、以下のように実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - a. 地球温暖化防止のための省エネルギー（含む節水）
 - b. 循環型社会のための省資源、廃棄物の削減
 - c. 環境に配慮した製品の開発・販売促進
- ③ 日常業務の中で「ムリ・ムダ・ムラ」をなくすように努め、省資源・省エネルギーを徹底して、環境にやさしい職場をめざします。
- ④ 当社のすべての社員にこの環境方針を周知します。

大阪印刷インキ中部販売株式会社

代表取締役 牛田 寛治

制定日：2006年5月31日

改訂日：2019年4月 1日

I. 組織の概要

1 会社名及び代表者名

会 社 名 大阪印刷インキ中部販売株式会社

代 表 者 名 代表取締役 牛田 寛治

2 所 在 地

本 社 愛知県名古屋市中区栄二丁目16番1号

名 古 屋 支 店 愛知県清須市西枇杷島町旭二丁目39番地2号

静 岡 支 店 静岡県静岡市駿河区西脇939番地

東 海 営 業 所 愛知県豊川市宿町水入26番1号

3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責 任 者 管理部次長 金津 貴明 (愛知県名古屋市中区栄二丁目16番1号 TEL: 052-204-0555 (代))

担 当 者 技術部課長 福永美穂子 (愛知県清須市西枇杷島町旭二丁目39番地 TEL: 052-503-7659)

4 事業活動の内容についての簡単な記述

印刷インキ・印刷諸資材・印刷機械の販売

5 事業の規模

売 上 高 (全 体) 11.8 億円/年 (2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

社 員 数 (登 録 申 請 範 囲) 29 名 (2019 年 3 月 31 日現在)

事 業 所 の 延 べ 床 面 積 1,663.3 m²

■ 対象範囲

本社及び名古屋支店、静岡支店、東海営業所における印刷インキ・印刷諸資材・印刷機械の販売

■ レポートの対象期間及び発行日

対 象 期 間 2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

発 行 日 2019 年 10 月 30 日

改 訂 日 2019 年 11 月 11 日

II. 環境目標及び活動計画

■ 2-1. 目標値及び活動計画について

2017 年度より津営業所・松本営業所を名古屋支店に統合したため、2016 年度を基準年として計算しています。
環境配慮型インキの取扱いについては総売上に占める割合を設定しています。

年 度		2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	活動計画
項 目						
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			99.0%	98.5%	98.0%	
電力使用量の削減	使用量 (kWh)	基準年	99.7%	99.3%	99.0%	・ 昼休みの消灯 ・ エアコンの適正温度設定 ・ クールビズ、ウォームビズの実施
ガソリン等 (ガソリン・軽油) 使用量の削減	使用量 (L)		99.0%	97.0%	95.0%	・ アイドリングストップの実践 ・ エコドライブの実践 ・ エコカーへの切替え
廃棄物総量 (資源ゴミ含む)	総量 (kg)		99.7%	99.3%	99.0%	・ ゴミの計量、分別による自覚 ・ 通い函の使用推進 ・ 裏紙コピーの徹底 ・ 緩衝材に古新聞紙の利用
水使用量の削減	総量 (m ³)		99.7%	99.3%	99.0%	・ 水道のこまめな使用
環境配慮型インキの取扱比率	売上割合		45%	47%	49%	・ 顧客に対し環境配慮型インキへの切替えを推進する
e c o 検定の取得奨励 (取得率)		93%	96%	100%	100%	・ 新規採用者の受検サポート

※化学物質については使用する予定がないため、目標を設定しない

■ 2-2. 期間中の実績

当社は 2007 年 4 月より環境活動に取り組んできました。2014～2016 年までのデータを踏まえ、新たに 2016 年度を基準年として短～中期目標を計画し、実施中です。2018 年度の実績は下記表の通りです。

年 度		2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
項 目		(基準年)	(実績)	(実績)	(実績)
二酸化炭素排出量※ (kg - CO ₂)		98,991	93,729	90,613	
電力使用量の削減	使用量 (kWh)	66,870	64,572	60,462	
ガソリン等 (ガソリン・軽油) 使用量の削減	使用量 (L)	28,534	26,719	25,574	
廃棄物総量 (資源ゴミを含む)	総量 (kg)	3007	2501	2988	
水使用量の削減	総量 (m ³)	224	221	205	
環境配慮型インキの取扱比率	売上割合	43%	43%	42%	

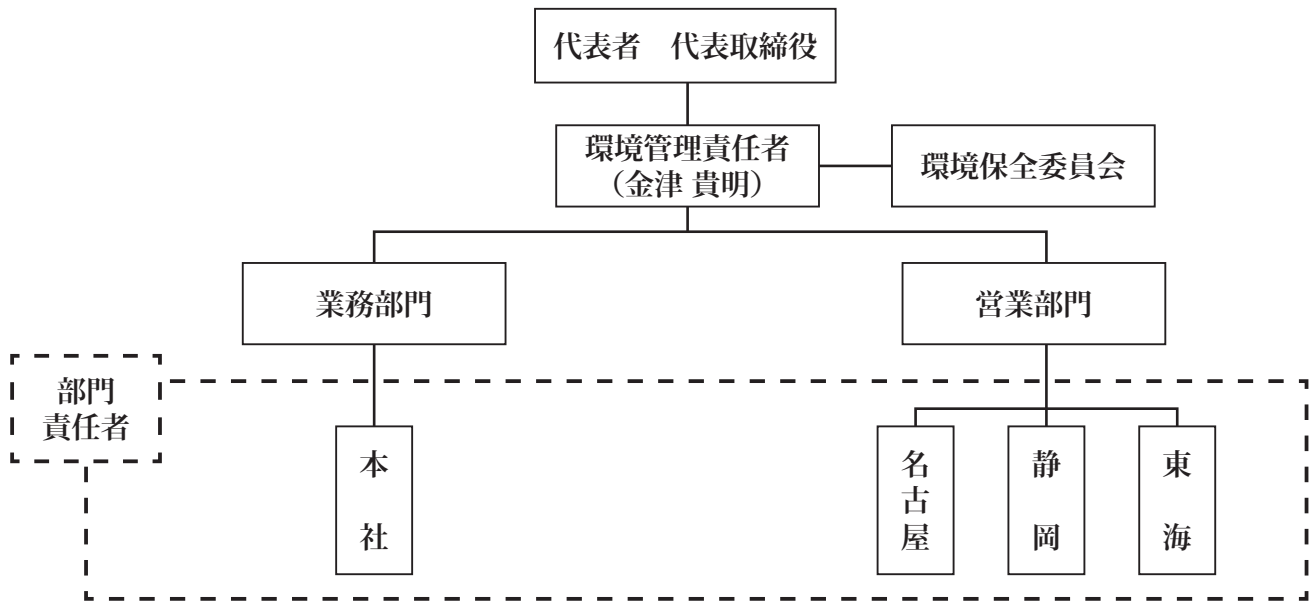


■ 計画 ◆ 実績

※電力の二酸化炭素排出係数は中期計画期間を示すことを考え、2016 年度のウェスト電力の係数を使用しています。(2016 年度 = 0.489)

Ⅲ. 計画の実施／実施体制

環境経営システム組織図



役割・責任・権限

代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境保全委員会	・環境管理責任者、E A 2 1 取得の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・各種文書フォームの作成・更新
部門責任者	・自部門における環境経営システムの具体的な実施を推進する ・自部門における環境方針を掲示・新人教育などで従業員に周知する（e c o 検定の受験推進） ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の特定された緊急事態への対応のためのテスト、訓練、記録、手順書の確認と修正 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置、報告
全従業員	・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚（e c o 検定の受験） ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

IV. 環境活動計画の取組み結果と評価

■ 4-1. 目標達成及び取組みの評価

目標を達成するために下記表に示す取組みを計画しました。また、達成状況と評価を併せて記載します。

取組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力使用量の削減 ・ 昼休みの消灯 ・ エアコンの温度設定（暖房＝21℃、冷房＝28℃） ・ クールビズ、ウォームビズの実施	目 標 ：66,402 kWh 実 績 ：60,462 kWh 率 ：91.1%(実績 / 目標)	目標達成！ エアコン温度管理も徹底されている。 不在時の消灯厳守。
ガソリン等使用量の削減 ・ アイドリングストップの実践 ・ エコドライブの実践 ・ エコカーへの切替え	目 標 ：27,678 L 実 績 ：25,574L 率 ：92.4 %(実績 / 目標)	目標達成！ 制限速度厳守、急発進禁止ルールでの燃費向上。
廃棄物総量 ・ ゴミの計量による自覚 ・ ゴミ分別の徹底 ・ ゴミの資源化を進める ・ 両面コピーの徹底	目 標 ：2,986 kg 実 績 ：2,988g 率 ：100.1%(実績 / 目標)	目標未達成 個々の廃棄物減少に向けての自覚を再確認する。
水使用量の削減 ・ 水道のこまめな使用	目 標 ：222 m ³ 実 績 ：205 m ³ 率 ：92.3%(実績 / 目標)	目標達成！ 引続き節水に取組む。
環境配慮型インキの取扱比率 ・ 環境に配慮した製品の拡販	目 標 ：47% 売上高実績 ：42%	目標未達成 環境配慮型のインキ自体の市場の減少に伴い当社の売上も減ってしまった。加えて環境配慮型ではないグラビアインキの売上は伸び、未達成。来年度は少しでも目標に届くよう努力。

■ 評価及び次年度の取組み内容

総合評価として、社員の環境に対する意識が高くなっており、次期以降もこの状態を継続し削減努力をする。
経費に直結するガソリン等価格の不安定なエネルギーについては特に意識度を高め、CO₂削減に貢献する。社有車をエコカーへ切替えていくうえでも、エコドライブへの意識を更に高める。
こまめな消灯不在時のパソコンオフ等節電対策は引続き実施する。
eco検定を受験することにより、社員の環境に対しての意識改革がされている。
環境配慮型インキについては、環境配慮型ではないグラビアインキの販売比率が高く、顧客の理解が難しいため目標達成に届いていない。
2020 年度 50%の目標をめざし拡販を進める。

■ 4-2. 化学物質管理

当社で取り扱う製品に含まれる化学物質については以下のように社員への周知を図っています。

- ◇SDS（安全データシート）の公開
- ◇事故や災害時のマニュアル作成と定期的な訓練の実施

当社の各事業所では化学物質の使用はなかったため数量管理は行っていないが、今後の数量管理のため、取扱い製品の最新版 SDS の収集作業を行っています。

また、当社製品の安全データシート（SDS）は、国連勧告（GHS：化学の分類と表示に関する国際システム）に対応した JIS Z 7253 形式に切替えて作成しています。

■ 4-3. グリーン購入

当社では環境方針に基づき、「地球環境への負荷が少ない資材の調達を推進する」ことを目的として、『グリーン購入基準』を定めています。

また購入の必要性を十分に考慮するとともに、製品やサービスのライフサイクルを考慮したグリーン購入を目的として、『グリーン購入基準』を定めています。

目標は、購入時『グリーン購入基準』に沿った活動を日常業務で実施することとしています。

「グリーン購入基準」

- ① 必要性の考慮
- ② ライフサイクルの考慮
- ③ 事業者取組みの考慮
- ④ 環境情報入手の考慮
- ⑤ 処理・処分の容易性

＜ライフサイクルの考慮＞

- ① 環境汚染物質等の削減
- ② 省資源・省エネルギー
- ③ 天然資源の持続可能な利用
- ④ 長期使用性
- ⑤ 再使用可能性
- ⑥ リサイクル可能性
- ⑦ 再生材料等の利用
- ⑧ 処理・処分の容易性

「グリーン購入行動指針」

- ① 在庫を持ちすぎない
- ② 廃棄・リサイクル可能な材質を選ぶ
- ③ 詰替え可能製品を選ぶ
- ④ 簡易包装商品を選ぶ

■ 4-4. 製品・サービスに関する環境配慮

当社では地球環境及び労働環境に配慮し、P R T R 法、労安法、消防法などに抵触しない製品の開発に取り組んでいます。

また、取扱い製品全体に対する環境配慮型製品の取扱い率の目標を定め、取引先と協力をして環境負荷低減に取り組んでいます。

- ① インキ販売総量に対する環境配慮型インキの比率を 2020 年度までに 50% を目標とする。
- ② VOC を排出しない UV 印刷用資材の販売促進。
- ③ エコドライブに心がけ、環境配慮と経費節減に努める。社有車切替え時にエコカーを導入する。
- ④ 労働安全衛生面においては顧客への助言を行い、より有害性の低い製品の販売を促進する。

V. 環境への取組み

■ 5-1. 事業所周辺の清掃活動

本社、各事業所では定期的に社員による清掃活動を行っています。
季節により、外回りの人数（草取り）を増減させるなどの工夫を行っています。



清掃活動の様子

■ 5-2. 社会貢献活動

現在事業所ごとに、「使用済切手収集」「ペットボトルキャップ収集」を行っています。
集めた使用済切手は、途上国の妊産婦と女性の健康と命を守るための活動資金として公益財団法人ジョイセフへ送っています。ペットボトルキャップは、世界の子どものポリオワクチンを寄付する活動を援助するNPO法人エコキャップ推進協会へ送っています。
また本社ではエコキャップ寄付型自動販売機を導入し、ドリンク1本につき6円がエコキャップ運動の支援に使われています。



エコキャップ運動



切手収集ボランティア

■ 5-3. e c o 検定の取得奨励

社員一人一人の環境に対する意識を高めるためe c o検定の取得を奨励しています。
(2019年3月現在 26人が取得＝正社員の約 92.9%)
また、e c o検定「サポート企業」として登録しております。

■ 5-4. 環境担当者

各事業所では環境担当者（5 S委員会）を選定し、社員全員が活動に参加することによって、ゴミの分別や整理整頓といった環境に対する意識を全社員に浸透させています。

■ 5-5. WEB会議システム

現在、月1回の全体会議をWEB会議にて開催しております。これにより会議1回あたり約19.2kgのCO₂排出削減に寄与しております。これは年間に換算すると（10回/年）191.9kgのCO₂の排出削減となり、杉の木が1年間に吸収するCO₂量を約14kgとして計算すると、おおよそ13.7本の杉の木が吸収するCO₂量となります。

■ 5-6. Fun to Share への賛同

当社では、低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」の趣旨に賛同し、「Fun to Share 宣言」を行っています。

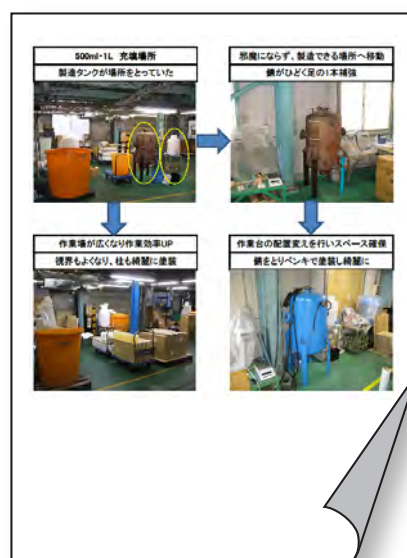
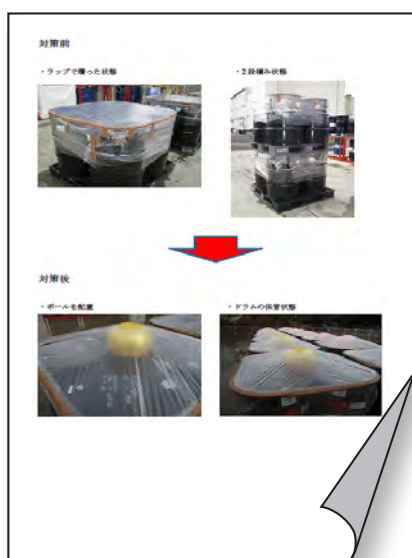
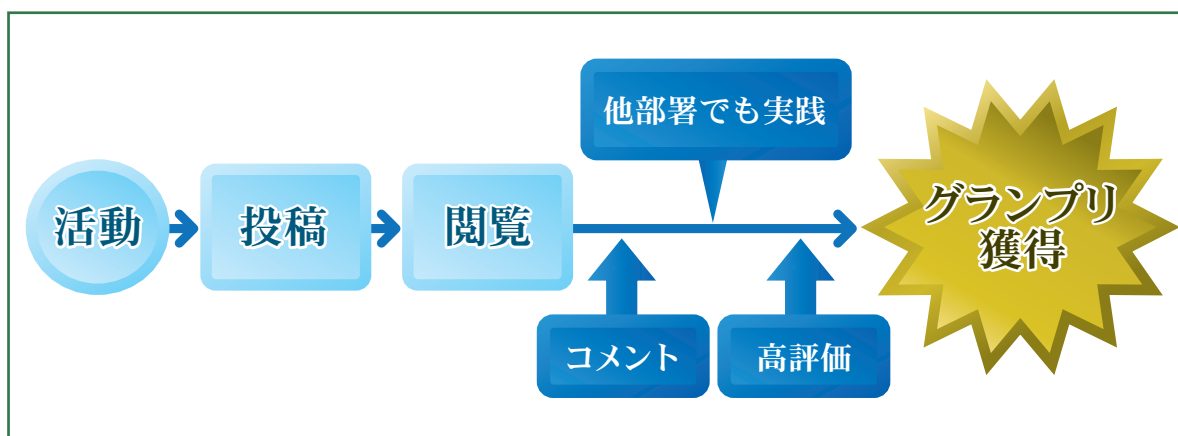
■ 5-7. 地域に対する働きかけ

当社名古屋支店のある愛知県清須市西枇杷島町は、町内を旧美濃街道が通る歴史豊かな地域です。毎年6月には「尾張西枇杷島まつり」が開催され、近隣地域から多くの人々が訪れます。当社では地域に対するコミュニケーション活動を模索していましたが、2013年度より「尾張西枇杷島まつり」に清掃ボランティアとして参加し、打ち上げ花火開催翌日に庄内川河川敷の清掃作業に参加いたしました。今年度も引き続き清掃ボランティアへの参加を決定しました。



■ 5-8. グループウェアを活用した「カイゼン」活動

グループウェアの掲示板を活用して「誰でも参加」「皆が評価」できる仕組みを立ち上げ、『カイゼングランプリ』と名付けました。「効率」「品質」「経費」「安全」などの項目で投稿することで改善活動が身近なものになっています。



VI. 環境関連法規遵守状況の確認、評価の結果、違反、訴訟等の有無

●法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	要求事項	適用される施設等
消防法（危険物）	危険物貯蔵所	危険物貯蔵施設（静岡支店）
浄化槽法	法定検査報告書保管	浄化槽（名古屋支店）
毒物及び劇物取締法	一般販売業者登録証 （有効期限）	毒物取扱い各店
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	簡易点検	該当機器設置部署

過去 3 年間にわたって近隣住民からの苦情等はありませんでした。
環境関連法規制等の遵守状況及び定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去 3 年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

VII. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境活動計画全般については特殊原因を除いて、数値目標がほぼ達成されております。これらの評価の結果、方針、目標、活動計画等は見直す必要はないと判断して以下の事柄を継続、検討目標とします。

- (1) 具体的なグリーン購入基準を定めており、それに基づいた行動を推進していく。
- (2) 環境配慮型インキの拡販について顧客への理解を深めるよう努力し、普及率拡大に努める。
- (3) 新たな外部コミュニケーションを模索し、対外的な活動を積極的に実施する。

以上

環境を考え未来を提案するトータルサプライヤー



大阪印刷インキ中部販売株式会社



®環境省
エコアクション21
認証番号 0002193

2020.02.26
